

# コトバカっ!



コトバカ  
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

## 妄想語カレンダー

新年の目標。気に入ったコトバだけを使って生きていく。好みでないコトバ、ネガティブ気分が増長しそうなコトバは一切使わない。世の中には発音するたびにわくわくするようなコトバがたくさんあるんだから、できるだけ活用して、機嫌よく毎日を過ごしたいではないか。

たとえば、気の進まない予定などは、美しいコトバに変換して手帳に書いておくのはどうだろう。外国語なら勉強にもなり「石」鳥だ。「エルゴン」(ギリシャ語で「仕事」なんて何だかカッコイイし、「ブリツィア」(イタリア語で「掃除」)はピカピカになりそう。「ミティン」(スペイン語で「会議」)も可愛いじゃないの。ただし、あまりに難しいコトバだと、いざというとき「今日のこの予定、何よ?」と焦りそう。完全自業自得のスリリングな現実逃避感を味わいたい方はぜひ。

ちなみに私の手帳には「ジム」という予定が入っているが、これはウソだ。本当はマッサージなのだけど、筋肉を伸ばすストレッチもやってくれるので「これって運動じゃん!」と思いき、ミエをはって「ジム」と呼ぶことにした。以来、アグレッシブな気分になり効果も上がった(気がする)。この「ジム」はお茶とお菓子を出してくれるし、中国語を教えてくださいたりもするので「カフェ」でも「語学学校」でもいいのだが。

2012年の予定を見直してみると「王妃帰国記念晩餐会」というのがあった。「友たちが転勤先から戻ってくる日に飲もう!」というささやかな企画が仲間うちで盛り上がり、いつの間にかこうなったのだった。主役の王妃(女王キヤラの友人)は大雨の中、大阪から東京までバイクを飛ばして帰ってきたんだっけ。ああ、日常はなんてドラマチックなの。

ただ、9月30日に「ジェラワット」とあるのが意味不明だった。調べると淡水魚の一種らしい。食べてないよそんな魚、と自分に突っ込みつつ、ようやく思い出した。その日、そっぴつ名前前の台風が日本を襲ったのだ。もう忘れないわ。でも、今後使う機会があるのかこの単語?

相川藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。